

凡 例

- 1、本資料は歴代宝案編集参考資料として、『歴代宝案』訳注本第3冊（第2集目録・巻1～14）〔沖縄県教育委員会発行〕の語注を、事務局で一覧表にまとめたものである。
- 2、本資料は元来事務局での作業用にパソコン処理をして作成したものである。そのため機械にない文字等は●（部首＋つくり等）にして適宜処理した。
- 3、訳注本で語注を付した語句は総数 2,458件である。うち、引用された文書の始めと終りを示すだけの注などを除き、1,285件（語句 998件、人名・地名 287件）を抽出した。
- 4、配列は大きく総画数順と五十音順に分け、それぞれ①語句、②人名・地名に分けた。
総画数順は訳注本第3冊に付した「語注索引」に準じるものであるが、機械的な処理を施したため、必ずしも一致しない所がある。
- 5、項目は、語彙、意味、種類（語句、人名・地名）、集、巻（巻番号）、号（文書番号）、注（注番号）、冊数、頁数である。なお項目のうち巻、号の欄が「0」になっているのは目録の語注である。また語彙欄の頭に*印のついているものは「見よ項目」、意味欄の「用語解説」参照は、訳注本第2冊に収録した「用語解説」をさす。

2000年3月20日

(助)沖縄県文化振興会公文書管理部
史料編集室